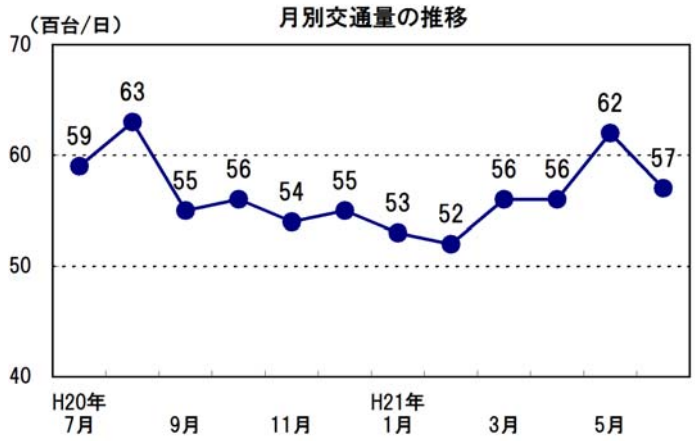
＜交通状況＞

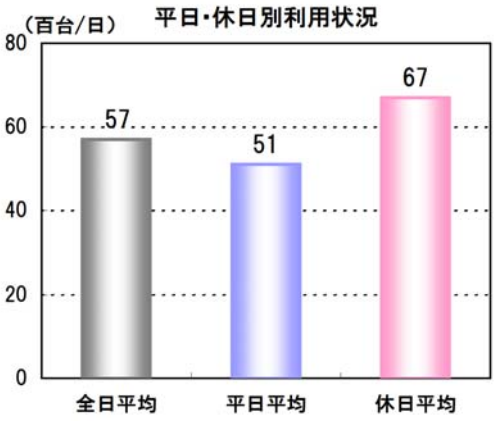
１．東九州道の本線交通量

■ 平成 20 年 6 月 28 日の開通以来、日平均交通量は約 5,200～約 6,300 台/日で推移し、開通後 1 年の平均は、約 5,700 台/日となっています。

■ 平日・休日別の利用状況では、平日が約 5,100 台/日に対し、休日が約 6,700 台/日と平日の約 1.3 倍となっています。

◆ 津久見 IC～佐伯 IC 間の日平均交通量





※日平均交通量：ネクスコ西日本営業データより

※集計期間：平成 20 年 7 月 1 日～平成 21 年 6 月 30 日

◆ 隣接区間等の日平均交通量

（台/日）

区　　間	開通前（A）	開通後（B）	増減（C） （C＝B－A）	増加率 （C/A）
① 大分米良ＩＣ～大分宮河内ＩＣ	6,900	10,200	＋3,300	＋48%
② 大分宮河内ＩＣ～臼杵ＩＣ	5,500	8,800	＋3,300	＋60%
③ 臼杵ＩＣ～津久見ＩＣ	3,500	7,100	＋3,600	＋103%

※日平均交通量：ネクスコ西日本営業データより

※集計期間：開通前）平成 19 年 7 月 1 日～平成 20 年 5 月 31 日　開通後）平成 20 年 7 月 1 日～平成 21 年 5 月 31 日

